

金沢学院大学

2025 (令和 7) 年度 入学者選抜試験問題

一般選抜 I 期 < 1 日目 >

2025 年 2 月 3 日 (月) 実施

歴史総合・日本史探究

I 注意事項

1. 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 解答用紙の解答科目欄に「歴史総合・日本史探究」と記入・マークしてから解答してください。
3. 問題は 1 ページから 11 ページまであります。
4. 問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用することは法律で禁じられています。

II 解答上の注意

解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の 2 種類があります。マーク式の問題で、「解答番号は 」と表示のある問いに対して④と解答する場合は、下記の例のようにマークしてください。記述式の問題には「解答は 」と表示がありますので、記述式の解答用紙に記入してください。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

問題は次のページからです。

第1問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

完新世になると地球の気候も温暖になり、海面が上昇してほぼ現在に近い日本列島が成立した。自然環境の変化に対応して、人々の生活も大きく変わり、縄文文化が展開する。縄文時代の人々は、あらゆる自然現象や自然物に靈魂がやどると信じていたと考えられている。これをアニミズムというが、呪術によってその災いを避けようとし、また豊かな自然の恵みを祈った。こうした呪術的風習を示す遺物に、女性をかたどったとされる（ア）や男性の生殖器を表現したと思われる（イ）などがある。健康な歯を抜く抜歯の風習は、縄文時代の中頃からみられ晩期に盛んになった。抜歯は成人になった時などにおこなわれた一種の通過儀礼で、集団の統制のきびしさをうかがわせる。

縄文文化が終末を迎えた紀元前8世紀頃、朝鮮半島に近い九州北部で水田による米づくりが開始され、紀元前5～前4世紀頃に東日本にも広まった。北海道と南西諸島を除く日本列島で、(A)水稲耕作を基礎とする農耕文化が形成されてから、古墳がつくられるようになる3世紀半ばまでを(B)弥生時代と呼んでいる。弥生時代の集落では、豊かな収穫を祈願し、また収穫を感謝する祭がおこなわれ、これらの祭には、(C)青銅製祭器が用いられた。これらの青銅製祭器は個人の墓に埋められることはほとんどなく、集落の人々の共同の祭に用いられた。

3世紀中頃から後半になると、前方後円墳をはじめとする古墳が西日本を中心に出現した。古墳が営まれた3世紀中頃から7世紀を、古墳時代と呼ぶ。農耕に関する祭祀は、古墳時代の人々にとってもっとも大切なものであり、なかでも豊作を祈る春の（ウ）や収穫を感謝する秋の（エ）は重要なものであった。また、穢れをはらい、災いを免れるための禊や祓、裁判に際して、熱湯に手を入れさせ、手がただれるかどうかで真偽を判断する神判の（オ）などの呪術的な風習もおこなわれた。

問1 文中の（ア）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 石人 ② 石棒 ③ 土偶 ④ 埴輪

問2 文中の（イ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 石人 ② 石棒 ③ 土偶 ④ 埴輪

問3 文中の（ウ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 賀茂祭 ② 祇園祭 ③ 祈年（の）祭 ④ 新嘗（の）祭

問4 文中の（エ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 賀茂祭 ② 祇園祭 ③ 祈年（の）祭 ④ 新嘗（の）祭

問5 文中の（オ）に適切な語句を漢字4文字で答えよ。解答は

問6 文中の下線(A)に関する説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 開田や耕作には木製の鍬や鋤などが用いられ、やがて鉄製の刃先をもつ農具が普及した。
- ② 稲の収穫には石包（庖）丁などを用いて穂首を摘みとったが、しだいに鉄鎌なども用いるようになった。
- ③ 穀を穂からとり、もみがらを穀粒からとり去る脱穀には、千歯扱が用いられた。
- ④ 収穫物は高床倉庫や貯蔵穴におさめられた。

問7 文中の下線(B)の時代における墓制の説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 東日本では中期の中頃まで、死者の骨を土器につめた再葬墓がみられる。
- ② 九州北部の中期の甕棺墓の中には、三十数面もの中国鏡などを副葬したものがみられる。
- ③ 東日本では後期になると、秋田県の大湯環状列石など、共同墓地と考えられるストーン＝サークルが設けられた。
- ④ 西日本では後期になると、岡山県の楯築墳丘墓のような大規模な墳丘をもつ墓が出現した。

問8 文中の下線(C)に関して、銅剣358本、銅矛16本・銅鐸6点が出土した島根県の遺跡として**適当なもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 板付遺跡
- ② 荒神谷（神庭荒神谷）遺跡
- ③ 纏向（纏向）遺跡
- ④ 吉野ヶ里遺跡

第2問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

鎌倉幕府の3代執権（ア）は、合議制の採用や(A)御成敗式目（貞永式目）の制定をおこなうなどして、執権政治の隆盛をもたらしたが、その政策は孫の執権北条時頼に継承された。時頼は1247（宝治元）年、宝治合戦で（イ）の一族を滅ぼし、北条氏の地位を不動のものとした。また時頼は、（ウ）衆の会議である（ウ）のもとに、新たに（エ）において（エ）衆を任命し、(B)御家人らの所領に関する訴訟を専門に担当させ、公正で迅速な裁判の確立につとめた。

やがて幕府は藤原将軍にかわる皇族（親王）将軍として、（オ）上皇の皇子宗尊親王を迎え、皇族将軍が以後4代続いた。さらに幕府は大陸の文化を積極的に受け入れ、蘭溪道隆を開山とする禅宗の大寺院（カ）を造営するなど、鎌倉を武家の都として整えていった。なおのちに幕府は（カ）の修造資金調達のため、1325（正中2）年に元へ（カ）船を派遣している。

問1 文中の（ア）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 北条時宗 ② 北条時行 ③ 北条貞時 ④ 北条泰時

問2 文中の（イ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 安達泰盛 ② 比企能員 ③ 三浦泰村 ④ 和田義盛

問3 文中の（ウ）・（エ）にあてはまる語句の組み合わせとして適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① ウ：引付 エ：評定 ② ウ：評定 エ：引付
③ ウ：連署 エ：引付 ④ ウ：評定 エ：連署

問4 文中の（オ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 白河 ② 崇徳 ③ 後嵯峨 ④ 後鳥羽

問5 文中の（カ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 建長寺 ② 建仁寺 ③ 天龍寺 ④ 龍安寺

問6 文中の下線(A)の説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 源頼朝以来の先例や、道理と呼ばれた武家社会の慣習・道徳に基づいて定められた。
- ② 御家人同士や御家人・荘園領主間の紛争を公平に裁く基準を明らかにした。
- ③ 守護の職務として、京都大番役の催促と謀叛人・殺害人の逮捕を定めている。
- ④ 御成敗式目の制定により、それまでに定められた公家法や本所法は全て廃止された。

問7 文中の下線(B)に関連して、土地の支配権をめぐる紛争が拡大する中で、地頭の支配権拡大の動きに直面した荘園や公領の領主がとった紛争の解決方法について、下記の2語を使用して60字以内で説明せよ(ただし、句読点を含む)。使用する順番は問わない。また、必要であれば同じ言葉を繰り返して使用してもよい。解答は

使用する言葉： 下地中分、地頭請

第3問 次の史料文Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを読み、下の問いに答えよ。

- Ⅰ 一 異国江日本の船遣すの儀、堅く停止の事。
一 日本人異国江遣し申す間敷候。若忍び候て乗渡る者之有るに於ては、其者は死罪、其舟并船主共ニとめ置、言上仕るべき事。
一 (A)異国江渡り住宅仕り之有る日本人来り候ハゞ、死罪申し付くべき事。
(『教令類纂』)
- Ⅱ 一 日本国御制禁成され候吉利支丹宗門の儀、其趣を存知ながら、彼の法を弘むるの者、今に密々差渡るの事。
一 (B)宗門の族、徒党を結び邪儀を企つれば、則御誅罰の事。
(中略)
右茲に因り、自今以後、(C)かれうた渡海の儀、之を停止せられ訖。此上若し差渡るニおみてハ、其船を破却し、并乗来る者速に斬罪に処せらるべきの旨、仰せ出さる者也。仍執達件の如し。
(『御当家令条』)
- Ⅲ 一 異国え(D)奉書船の外、舟遣すの儀、堅く停止の事。
一 奉書舟の外、日本人異国へ遣し申す間敷候。若忍び候て乗参候者之有るに於てハ、其者ハ死罪、其舟并船主ともに留置、言上仕るべき事。
(中略)
一 異国舟につミ来り候白糸、直段を立候て、残らず(E)五ヶ所へ割符仕るべき事。
(中略)
一 (F)薩摩、(G)平戸、其外いづれの浦に着候船も、長崎の糸の直段のごとくたるべし。長崎にて直段立候ハぬ以前、売買停止の事。
(『武家厳制録』)

問1 文中の下線(A)のうち、駿河国出身で、シャム(タイ)のアユタヤ朝へ渡り、首都アユタヤの日本町の長としてアユタヤ朝に重用された人物として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 末次平蔵 ② 高田屋嘉兵衛 ③ 支倉常長 ④ 山田長政

問2 文中の下線(B)は1637(寛永14)年に九州地方でおこった、領主のきびしい年貢とり立てやキリスト教徒への弾圧に抵抗して土豪や農民らがおこした一揆を指すが、その一揆がおこった地域として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 天草 ② 奄美 ③ 壱岐 ④ 対馬

問3 文中の下線(C)は対日貿易に使用された小型快速帆船のことをいうが、この帆船は特にどこの国から送られてきた商船のことを指すか。適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① イギリス ② オランダ ③ スペイン ④ ポルトガル

問4 文中の下線(D)は日本人商人へ海外渡航を許可する朱印状のほかに、「奉書」も発行された海外渡航船であるが、この「奉書」を発行した幕府の役職者として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 勘定奉行 ② 長崎奉行 ③ 老中 ④ 若年寄

問5 文中の下線(E)にあたる地名として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 堺 ② 博多 ③ 坊津 ④ 山口

問6 文中の下線(F)は江戸時代、琉球王国との交流の窓口となっていた。琉球王国は幕府に対して、琉球国王の代替わりごとに(X)使を、幕府将軍の代替わりごとに(Y)使を江戸に送っている。この(X)・(Y)にあてはまる語句の組み合わせとして適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① X：慶賀 Y：謝恩 ② X：謝恩 Y：慶賀
③ X：通信 Y：慶賀 ④ X：謝恩 Y：通信

問7 文中の下線(G)へ1613(慶長18)年に来航し、商館を開いて日本との貿易を開始したが、1623(元和9)年に商館を閉鎖して撤退した国として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① イギリス ② オランダ ③ スペイン ④ ポルトガル

問8 史料文Iが発令された年として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 1633(寛永10)年 ② 1635(寛永12)年
③ 1639(寛永16)年 ④ 1641(寛永18)年

※問9は次のページにあります。

問9 史料文Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに関する説明として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

22

- ① 史料文Ⅰと史料文Ⅱでは、史料文Ⅰの方が先に発令された。
- ② 史料文Ⅰと史料文Ⅲでは、史料文Ⅰの方が先に発令された。
- ③ 史料文Ⅱと同じ年に、中国船の寄港地が長崎に限定された。
- ④ 史料文Ⅲと同じ年に、中国船の寄港地が長崎に限定された。

問題は次のページに続きます。

第4問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

1924（大正13）年、西園寺公望と松方正義の2人の元老は、政党と距離を置く人物を選ぶため、枢密院議長であった（ア）を首相として天皇に推薦した。（ア）が外務大臣・陸軍大臣・海軍大臣を除く閣僚をすべて貴族院から選ぶと、（イ）・（ウ）・（エ）の3党は、超然内閣の出現であるとして、憲政擁護運動をおこした（第2次護憲運動）。

これに対して（ア）内閣は、（イ）の高橋是清総裁に批判的な勢力によって形成された（オ）を味方に付け、議会を解散して総選挙に臨んだが、結果は（イ）・（ウ）・（エ）ら護憲三派の圧倒的な勝利に終わった。

（ア）内閣は総辞職し、それにかわって衆議院の第一党となった（ウ）の総裁であった加藤高明が3党の連立内閣を組織した。(A)加藤内閣は幣原喜重郎を外務大臣とし、幣原外交と呼ばれる協調政策を外交の基本とした。また1925（大正14）年、いわゆる「普通選挙法」を成立させた。(B)大正期に高揚した自由主義・民主主義的風潮を「大正デモクラシー」と呼ぶことが多いが、この風潮のもとで多様な学問や芸術が発達した。

問1 文中の（ア）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

23

- ① 清浦奎吾 ② 田中義一 ③ 寺内正毅 ④ 山本権兵衛

問2 文中の（イ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

24

- ① 革新倶楽部 ② 憲政会 ③ 立憲国民党 ④ 立憲政友会

問3 文中の（ウ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

25

- ① 革新倶楽部 ② 憲政会 ③ 立憲国民党 ④ 立憲政友会

問4 文中の（エ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

26

- ① 革新倶楽部 ② 憲政会 ③ 立憲国民党 ④ 立憲政友会

問5 文中の（オ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

27

- ① 憲政本党 ② 政友本党 ③ 立憲同志会 ④ 立憲帝政党

問6 文中の下線(A)に関連して、1920年代の国際情勢と日本の関係に関する説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 1921(大正10)年にアメリカは海軍軍備制限と太平洋および極東問題を審議するための国際会議をワシントンで開催し、日本は加藤友三郎・幣原喜重郎らを全権として派遣し、一連の条約に調印した。
- ② 1922(大正11)年に北樺太をのぞいてシベリアからの撤兵は完了していたが、幣原外務大臣はさらにソヴィエト連邦との関係改善に努め、1925(大正14)年に日ソ基本条約を締結してソ連との国交を樹立した。
- ③ 中国では軍閥間抗争や1925(大正14)年の五・三〇事件などの民族運動がおこっていたが、加藤高明内閣や第1次・第2次若槻礼次郎内閣で外務大臣をつとめた幣原は、列国との協調方針をとり不干渉政策を維持した。
- ④ 1926(昭和元)年より中国では蒋介石が北伐を開始したが、これに対し田中義一内閣は、1927(昭和2)年に中国関係の外交官や軍人を集めて東方会議を開き、中国の内政に干渉しない方針を定めた。

問7 文中の下線(B)の説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 吉野作造は民本主義を提唱し、大日本帝国憲法の枠内で民主主義の長所を採用しよう主張した。
- ② 美濃部達吉は国家が統治権の主体で、天皇は国家の最高機関であるとの憲法学説を唱えた。
- ③ 『新思潮』によった菊池寛や芥川龍之介らが、理知的に現実をみつめ、エゴイズムの悲哀を描こうとした。
- ④ 正岡子規が俳句の革新と万葉調の和歌の復興を進め、伝統文芸の革新として注目を浴びた。

問8 文中の下線(B)に関連して、大正から昭和初期にかけては市民生活が変容し、また大衆文化が成立したが、その説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 都心部から郊外にのびる鉄道の沿線に、俸給生活者(サラリーマン)を中心とする階層向けの文化住宅が建設された。
- ② タイピストや電話交換手、バスガールなどの仕事をもつ女性が見られるようになり職業婦人と呼ばれた。
- ③ 社会・風俗のヨーロッパ化が積極的に進められ、ヨーロッパ風の社交場として鹿鳴館が建設された。
- ④ ラジオ放送が東京・大阪・名古屋で開始され、ラジオ劇やスポーツの実況放送などが人気を呼んだ。

※問9は次のページにあります。

問9 次の表は1945（昭和20）年までの主な選挙法の改正を示した表である。この表に関する説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

31

（表）

	公布西暦（和暦）年	公布時の内閣	選挙人の資格	
			直接国税納入額	性別・年齢
I	1889（明治22）年	黒田清隆	15円以上	男性・25歳以上
II	1900（明治33）年	第2次山県有朋	10円以上	男性・25歳以上
III	1919（大正8）年	原敬	3円以上	男性・25歳以上
IV	1925（大正14）年	加藤高明	制限なし	男性・25歳以上
V	1945（昭和20）年	幣原喜重郎	制限なし	男女・20歳以上

（金丸三郎『新選挙制度論』（政経書院、1966年）を基に作成）

- ① 表中のIの黒田清隆内閣で公布された選挙法では、選挙人を直接国税15円以上納入の満25歳以上男性としたため、有権者は全人口の約1%強だった。
- ② 表中のIIの第2次山県有朋内閣が選挙法を改正したことにより、有権者が増えたが、一方で政党の影響力が官僚に及ぶのを防ぐため文官任用令も改正した。
- ③ 表中のIIIの原敬内閣はいわゆる「普通選挙法」の制定を実現しようとしたが貴族院で否決され、やむなく選挙人の資格制限を緩和するにとどまった。
- ④ 表中のIVの加藤高明内閣はいわゆる「普通選挙法」を成立させる一方、共産主義者や無政府主義者の台頭につながることをおそれ、治安維持法を成立させた。

2025(令和7)年度 金沢学院大学
一般選抜 I 期 (1 日目 / 2025年2月3日実施)
解答例【マーク式】

歴史 (歴史総合・日本史探究)							
解答番号		正解	配点	解答番号		正解	配点
第1問	1	③	3	第3問	14	④	3
	2	②	3		15	①	3
	3	③	3		16	④	2
	4	④	3		17	③	3
	5	③	3		18	①	3
	6	③	3		19	②	3
	7	②	3		20	①	2
第2問	8	④	3	21	②	3	
	9	③	3	22	①	3	
	10	②	3	第4問	23	①	3
	11	③	3		24	④	2
	12	①	3		25	②	2
	13	④	3		26	①	3
			27		②	3	
			28		④	3	
			29	④	3		
			30	③	3		
			31	③	3		

マーク	89
記述	11
計	100

2025年2月3日(月)

解答例

2025(令和7)年度 一般選抜I期 <1日目>
記述式解答用紙 「歴史総合・日本史探究」

受験番号		氏名	
志望学科	学科	専攻	専攻

※専攻欄は「経済学科」「文学科」「教育学科」受験の場合に記入してください。

第1問 問5

盟 神 探 湯

配点 4 点

第2問 問7 (横書き)

定	額	の	年	貢	納	入	と	引	き
換	え	に	荘	園	の	管	理	権	を
地	頭	に	委	ね	る	地	頭	請	や
、	地	頭	と	荘	園	を	分	割	し
て	支	配	す	る	下	地	中	分	な
ど	の	方	法	が	と	ら	れ	た	。

60

配点 7 点